

～県伊祭前～

- ・お味噌汁についてのアンケート (Eataly) の結果を集計
- ・先生に確認してもらう

〔反省〕

アンケート結果だけでなく、Japan Fair の内容がまとめられたような資料があるほうがいいとアドバイスをもらった。

～6月18日～

- ・アドバイスをもらった Japan Fair の資料を作成、自分たちで確認
- ・先生に確認してもらう (直接・メール)

〔反省〕

- ・反省点だけではなく、いいところもしっかりと書くようにアドバイスをもらった。
- ・もう少し企業さんのためになる情報があってもいいとアドバイスをもらった。  
(お味噌汁が不評だったなどの否定的な意見も取り入れて)
- ・私たちが実際に行って感じたことを情報としてもう少し書いておくべきだったと思った。

～6月19日～

- ・松谷化学さんを訪問  
(Japan Fair の報告・意見交換)

〔反省〕

- ・秋のお味噌汁のプレゼンの時にもっと松谷のお味噌汁ということを前面に出してフリーズドライと減塩ということに注目してもらうべきだったと思った。
- ・アバノテルメでの情報収集が甘かったのもっと周りに意見を聞いておくべきだったと思った。
- ・Japan Fair の趣旨としてお酒ばかりを推していたが、そこに松谷のお味噌汁も入れておくのもよかったのではないかと考えた。

## 〔感想〕

松谷化学工業を訪問して、イタリアでのフィールドワークのことを報告するだけだと思っ  
ていましたが、社員の方からたくさんのことを学びました。また、報告を通じて反省点  
がはっきりとしました。

社員の方のお話の中で、印象に残っていることが二つあります。一つ目は、「若い人にし  
か出ないアイデアがある」という話です。高校生を対象とした希少糖についての実験の話  
をして下さいました。高校生にしか思いつかない斬新なアイデアがあるというのは何度か  
聞いたことがあります。僕は、何か思いついても、笑われたらどうしようとか、どうせ無  
理だろうと考えてしまい、発言しないことが多いです。イタリアのフィールドワークに向  
けて、アンケートの取り方や、farewell lunch party での食事の提供の仕方を考えている  
ときも、他の人の意見に同意するのみで、あまり自分の考えを言うことはありませんで  
した。後輩たちがイタリアに行くときは、もっと斬新なアイデアで、フィールドワークのや  
り方やアンケートの取り方が変わるのかなと思いました。二つ目は、食品添加物の話です。  
僕たちは、報告の際に松谷化学で開発されたコーラを頂きました。0キロカロリーですが  
とてもおいしかったです。その秘密は、甘味料にありました。コーラだけでなく、味噌汁  
やパインファイバーなど、松谷化学の商品に含まれる添加物のことをたくさん教えて下さ  
いました。一つのことを聞くとどんどん話が広がっていきました。本当に仕事が好きな  
んだなと思ったし、僕も将来、一生懸命取り組める仕事を見つけたいと思いました。

反省点としては、まず、今回の報告に関する準備がほとんど後藤さんに任せきりだっ  
たことです。松谷化学で話を聞いて気づいた点は、イタリアでもっと松谷をアピールする  
べきだったということです。松谷の味噌汁は塩分が控えめで、特定保健用食品に認定さ  
れていることや他のインスタント食品とフリーズドライの違い、レアシュガーやパイン  
ファイバーな松谷のほかの商品についてなど、伝えることはたくさんあったと思いま  
す。小西酒造がメインになってしまいました。イタリアに行く前に松谷化学を訪問したか  
ったと思いました。

松谷化学や小西酒造のような大きな会社が地元にあるのは強みだと思います。後輩  
たちにはこの強みを活かして、これからのSGHの活動をより充実したものにしてほ  
しいです。